

校舎改築基本設計の中間まとめ説明会等でいただいた主なご意見・ご質問と回答

★ 説明会参加人数

保護者向け説明会 12月18日(水) 15時～ 参加者19名

地域向け説明会 12月19日(木) 18時30分～ 参加者26名

★ 配布資料

- ・ 杉並第二小学校改築基本設計中間まとめ説明会 次第
- ・ 資料1 杉並第二小学校改築基本設計中間まとめ
- ・ 資料2 杉並第二小学校改築基本設計中間まとめ【概要版】

★ いただいたご意見・ご質問 (令和2年1月末現在)



○ 校舎の高さについて

Q1 懇談会で、10メートルの高さ制限を緩和すると言っていたと思うがどうなったのでしょうか？

A1 校舎の高さ制限の適用除外は、許可及び審査が必要です。

Q2 A'案は、4階建てになっている。4階建てにすると、暗くなってしまいますので、4階建てについては、考えてほしいです。

A2 現在の案は、地下1階、地上3階となっており、敷地の高低差があるため、緑地側から見ると、4階建てですが、校庭側から見ると3階建てになります。屋上には、プールを設置する予定で、校庭から見ると部分的に4階建てになります。

○ 道路の拡張について

Q3 3年坂は、道路拡張後、車は通るのでしょうか？

A3 道路拡張後の3年坂の交通規制については、警察との協議によります。

Q4 鎌倉街道は道路拡張の対象でしょうか？

A4 区が定める主要生活道路として、鎌倉街道も道路を拡張します。

○ 通学路について

Q5 通学路についてはどのようなになるのでしょうか？

A5 現在、児童の約7割が利用しているさくら門は、鎌倉街道に面しており、また、急なカーブの途中に位置しています。今回の改築を契機に、より安全な通学路になるよう学校やPTAなどの皆様と検討を進めていきたいと考えております。新たな通学路を設ける場合は、安全点検を行い、防犯カメラの設置や通学案内交通指導員の配置について検討してまいります。

○ 工事期間中の対応について

Q6 工事期間中、校庭が利用できないので、公園を利用できるようにしてほしいです。

A6 工事期間中の公園利用については、東京都に確認したところ、「一般の利用者と競合しないこと」「専有しないこと」を条件に、利用可能と回答を得ています。

Q 7 工期期間中、東田中学校へ行きやすくするため、校庭わきの下に階段をつけてほしいです。

A 7 児童が使用する階段は、幅が広く勾配が緩やかなほうがよいので、奥行きが必要になります。現在の敷地の高低差を考えると難しいです。今後、工事について検討し、できることがあれば、随時、行ってまいります。

○ 災害の対策について

Q 8 A'案の集中豪雨の対策はありますか？

A 8 通常の雨であれば、道路のL溝型側溝で防ぐようになっており、敷地内に雨水が流れ込むことはなく、川などに排水します。また、学校内に雨水貯留槽を設けるなど、雨水処理対策をしっかり行っていきます。

○ 樹木について

Q 9 杉の伐採について、授業でからめてみてはいかがでしょう？

A 9 校内の樹木の扱いについては、移植できる樹木の調査や既存樹木をベンチにするなどの再利用について検討中です。先日、懇談会の委員の皆様からもご意見をいただきました。皆様のご意見を参考にさせていただきながら進めていきたいと思っております。

○ 校舎配置及び日影について

Q10 なぜ南東側に校舎を建てるのでしょうか？

A10 5つの配置案を校舎環境、校庭環境、周辺環境、仮設工事環境等の観点から比較・検討いたしました。そのご意見を受け、①校舎を南東側、校庭を北西側とする案、②2棟の校舎を北側、校庭を南東側とする案、③校舎を西・南側に配置する案の3案に絞り、その3案について、委員の方々から意見をいただき、①校舎を南東側、校庭を北西側とする案にまとまりました。このような配置になった理由として校庭が比較的広く確保できること、工事期間中も既存の北校舎と体育館が継続して使用できること、工事期間が短く、工事中の児童の学校生活への影響が少ないこと、全体の整備コストも抑えられることなど、他案と比較し総合的に判断した結果、①校舎を南東側、校庭を北西側とする案となったところです。

Q11 A'案の冬期における校庭への日陰の問題について、懇談会で議論してほしい。

A11 日陰について、校舎改築検討懇談会で、日影図を用いてご説明しました。皆様の校庭に及ぼす日陰についての不安を真摯に受け止め、校庭の日陰が少なくなるよう努めていきたいと思っております。

Q12 A'案にするならば、冬期における校庭への日陰の対応をきちんと努力してほしいです。

A12 冬期における校庭の日陰が少なくなるよう、設計事務所と検討してまいります。また、校庭の水はけなどについては、現在の校庭舗装と比較し、透水性に優れ凍害に強い校庭舗装材について検討を重ねています。さらに、校庭の水はけを向上させる設備として、校庭の下に透水性の排水管を設ける場合もあります。杉二小の校庭についても、他校の状況も踏まえながら、舗装種類や排水計画等について十分検討してまいります。